

◆ TNC操作 ◆

- ・TM-D700はAX25プロトコルに準じたTNCを搭載しています。このプロトコルはTNC同士の通信のために使用されます。
- ・TNCはPCからデータを受信し、それをパケットに組み立てトランシーバーが送信できる音響信号に変換します。またトランシーバーから音響信号を受信し、それをコンピュータ用のデータに変換します。さらにデータのエラーも確認します。

コマンドモード

- ・パケットモードを選択したときはTNCはこのモードです。
「cmd:」(コマンドプロンプト)がコンピュータ・スクリーンに表示されます。
このモードでは、コンピュータキーボードでコマンドを入力することによりTNCの諸設定を変えることができます。
- ・コンバースモードのときにコマンドモードに移行するためには、**[Ctrl]+[C]**を押してください。

コンバースモード

- ・相手局とリンクが確立(接続状態)されたとき、TNCはこのモードに移行します。キーボードからコマンドやメッセージを入力してリターンキーを押下すると、その内容はパケットに変換されて無線信号として送信されます。
コマンドモードのとき、「**CONVERSE**」か「**CONV**」もしくは「**K**」とキー入力するとコンバースモードに移行します。
- ・内蔵TNCが受け付けるコマンドのリストは41ページの“TNC コマンドリスト”を参照してください。

下表はTM-D700の表示器に表示される内容とTNCの現状態を表します。

表示	状態
TNC PKT	TNCはパケットモード中
STA	送信すべきパケットがバッファに残っている
CON	相手局とリンクが確立している状態
MBOD	メールボックスは他局からアクセスされているか、あるいはリンクが確立している状態
MAIL	TNCのメールボックスに貴局宛でのメール有り
1200	転送速度が1200bpsに設定されている
9600	転送速度が9600bpsに設定されている

- ・内蔵TNCは他局から直接メールを受信するために簡単なメールボックス機能を搭載しており、最大約110KBの情報を保存出来ます。
PCからコマンドを送ることにより、このメールボックスのメール内容を見ることが出来ます。{47頁参照}

[備考]

- ・TM-D700内蔵のTNCは、従来のTNCで利用可能なすべての機能を搭載しているものではありません。内蔵TNCの不具合が検出されたとき、内蔵TNCは自動的に初期化されます。これはTM-D700が不完全な状態にならないようにするためです。
- ・自局コールサインの局種別やそのノードを区別するために最高15種類のSSID(Secondary Station Identifiers)を使用することが出来ます。
例:JF1AJE-1 ~ JF1AJE-15
コールサインとSSIDの間には必ず「-」を挿入しなければなりません。
- ・電波の送受信状況はパケット通信に大きな影響を与えます。
安定したパケット通信のためにはSメーターがフルスケールであることが望まれます。Sメーターがフルスケールでないとき、9600bpsのパケット通信は頻繁にエラーを発生させます。